

平成24年行政事業レビューシート (復興庁、農林水産省)

<b>事業名</b>	日本公庫資金円滑化貸付事業(復興関連事業)		<b>担当部局</b>	復興庁統括官付参事官(予算会計担当) 農林水産省経営局金融調整課		<b>作成責任者</b>	参事官 尾関 良夫 課長 村井 正親		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度～未定		<b>担当課室</b>						
<b>会計区分</b>	一般会計・東日本大震災復興特別会計		<b>施策名</b>	⑤ 意欲ある多様な農業者による農業経営の推進					
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-					
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	東日本大震災に被災した農業者が行う復旧・復興のための取組を支援するため、日本公庫が災害復旧・復興関係資金を実質無担保・無保証人で貸し付けることができるよう、出資金を交付することにより、被災農業者が必要とする資金の融通を円滑にする。								
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災に被災した農業者の復旧・復興について、日本公庫の災害復旧・復興関係資金を借り入れる際の債権保全にあたり、融資対象物件担保だけではカバーしきれない部分があっても、実質無担保・無保証人により貸し付けることができる仕組みを構築するため、</li> <li>日本公庫の財務基盤を強化するための出資金を国が日本公庫に対して交付する。</li> </ul> 補給率:定額 ※平成24年度以降は、復興庁で一括計上し、予算執行は農林水産省で実施。								
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他								
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
	予算の状況	当初予算	-	-	-	1,963(復興庁計上)	※(復興庁計上)		
		補正予算	-	-	11,907(農林水産省計上)	-			
		繰越し等	-	-	0	-			
		計	-	-	11,907	1,963			
		執行額	-	-	11,907				
	執行率(%)	-	-	100%					
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	成果実績	・農業総産出額に対する日本政策金融公庫資金(農業経営向け)の貸付残高指数(12%を目安として維持) ・設定した融資枠(460億円)を目安として、融資の円滑化を目指す。 ※下段()書きは年度目標値、上段は年度実績値	指標(目標値)	-	-	13.6(12)	-		
			融資実績(融資枠)(億円)	-	-	460(460)	-		
達成度	%	-	-	113(100)	-				
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	融資実績		活動実績(当初見込み)	融資実績(億円)	-	-	460	-	
				(計画額)	-	-	(460)	-	
<b>単位当たりコスト</b>	289,299(円/件)(見込み)		算出根拠	[貸付全期間分] 出資金実績(6,000+5,907百万円)÷貸付保全件数(41,158件) (41,158件=(23,000+23,000百万円)÷1件あたり平均19百万円×平均貸付期間17年)					
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	日本公庫資金円滑化貸付事業に係る出資金	1,963	※(復興庁計上)						
	計	1,963	※(復興庁計上)						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・被災地において、多数の被災者から借入相談が相次いでおり、優先的に実施する必要。また、無利子、無担保・無保証人での融資等を強く要望。あわせて平成23年6月25日付け東日本大震災復興構想会議「復興の提言」、平成23年7月29日付け東日本大震災復興対策本部「東日本大震災から復興の基本方針」に示されている「二重債務問題」、「農業経営再建のための必要な資金調達の円滑化」に対応した事業。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>本事業は、成果指標について融資した後の成功に対する評価の視点がない。以上のことから、「成果指標の見直し」を行うべきであり、本事業としては「一部改善」とする。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	<p>※ 東日本大震災復興特別会計における金融関係事業に関する予算措置については、農業者の資金繰りに万全を期すため、被災地域の復興状況を踏まえながら、被災農業者の資金需要を慎重に見極めることが必要。 このため、当該事業に係る平成25年度要求額については、予算編成過程において検討していくこととなる。</p> <p>予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、成果指標の見直しについて今後検討。</p>		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	復興-0019

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)(単位:百万円)

農林水産省  
11,907百万円

【特定・出資金】

A. (株)日本政策金融公庫  
(実質無担保)  
11,907百万円

無担保・無保証人による貸し付けにより対応できる仕組みを構築するため、日本公庫の財務基盤を強化するための出資金を交付する。

A.(株)日本政策金融公庫			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
出資金	日本公庫資金円滑化貸付事業	11,907			
計		11,907	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につい  
 て記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日本政策金融公庫	日本公庫資金円滑化貸付事業に係る出資金	11,907	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					